



自然には勝てません！

今週火曜日（28日）、水曜日（29日）に予定されていた1、2年生のスキー教室が、強風でリフトが運行されなかったため、当日の登校後に急遽中止になりました。

楽しみにしていたスキー教室が中止になり落胆した子どもも多かったのですが、さすが4月から生保内中学校を引っ張り、支えていく1、2年生、気持ちを切り替えて3時間の授業に真剣に取り組んでいました。

今回の件で、自然に対する人間の無力さ、自然には勝てないことを身をもって学ぶことができたのではないのでしょうか。子どもたちがこれから生きていく中で、思い通りにならない場面に数多く直面することと思いますが、そんな時に【どうしたらよいか考え、どのように振る舞うか】がその人を大きく成長させるものだと思います。1、2年生が気持ちを切り替えて授業に真剣に取り組んだこと、このことはきっと貴重な財産になるものと期待しています。

考えて行動できる人間は、考えない人間よりもはるかに成長する

元 楽天イーグルス監督 野村克也著『志の書～夢を叶える心得～』より

「努力に即効性はないが、努力は裏切らない」

先日ある原稿執筆を依頼され、本校の野球部と豊成中の野球部との合同チームが、全県大会出場をかけた地区総体の決勝戦について書かせていただきました。たまたま私もその試合をリアルタイムで球場で見たいのですが、仲間を信じ、目標に向かって最後まで諦めずに戦う姿に感動したことを思い出します。

なぜこのチームが栄光を勝ち取ることが出来たのか考えてみたのですが、その要因は、合同チームというハンデを抱えながらも、同じ目標に向かってひたむきに努力を続けたことなのではないかと思っています。

成功するかしないかの境目は、愚直なまでに最後まで努力できたかどうかでしかないとは私には考えるのですが、本当の努力というものとはそう簡単なものではなく、地道なものだと思います。努力することが、やがて大きな成果につながるということを頭で理解はしていても、それを継続することは並大抵の意思ではかなわないことではないでしょうか。しかも、すぐに結果に結び付くわけではありませんので、ますます厄介だと感じてしまいます。しかし、努力したことの効果（成果）はじわじわと表れてきます。

はたして、伸びる人間と伸びない人間の違いはどこにあるのでしょうか。言葉を換えれば「成果を得られる人間と得られない人間の違い」はどこにあるのでしょうか。

私は、成果を得られなかった人間に共通しているのは「**努力に即効性はない**」ということを理解していなかったのではないかと考えます。すぐに結果を求め、結果が出ないからといってすぐに努力することを止めてしまう。これでは望む結果など得られはざありません。

努力に即効性がないことを理解し「**努力し続けることは決して無駄にならず、いつか必ず報われる**」ことを信じて、どんなことにも真摯に向かいたいものだと思います。

お詫び

前号（8号）で、「東北スキー大会」に選手としてだけでなく補助員としても頑張った子どもたちのことを紹介した記事の中で、画像と画像の説明文に一部間違いがありました。正しくは、右の通りです。訂正してお詫びします。よく確認もしないまま発行してしまい、すみませんでした。



もっくじーる (T.Yさん)



無事前走を終え (F.Kさん)

※F.Kさんの画像はこちらでした。

※前号の画像

これは、T.Yさんでした。